

岐阜の城下町！長良川をスマートコンストラクションで施工



掘削箇所は広範囲！ 効率的な施工を実現したい

■ ■ 現場詳細 ■ ■

令和2年度長良川忠節河道掘削
洪水の際、より安全に水を流すために河
道内に堆積した土砂を撤去する工事

【施工範囲】420m

【施工土量】掘削 22,900m³

【I C T 建機】PC200i/D61PXi

【ソリューション】

スマートコンストラクションアプリ

SMART CONSTRUCTION Fleet

■ ■ 導入経緯 ■ ■

日東工業(株)

監理技術者 上野仁さん

今回の現場は指定型のため、ICT活用は
必須でした。しかし、これだけ広大な面
積を従来施工で実施する場合かなりの労
力を要します。私自身、スマートコンス
トラクションの経験は2回目になります
が、前回ICT建機を導入し丁張りや人工
の削減及び面管理が効率良くできたこと
や、SMART CONSTRUCTION Fleet
によるリアルタイムでのダンプの運行管
理が魅力的に感じたので今回も導入を決
めました。



現場代理人 神田采音 さん



監理技術者 上野仁 さん

岐阜県
日東工業(株) 様

昭和28年 創業

岐阜県羽島市に所在

地元、岐阜県羽島市で60年以上。

これからも地域に、社会に、

貢献する総合建設業者

『日東工業』として。

掲載月:2022年3月

掘削土量がアプリで見える 運行管理も I C T 技術で

■ ■ 導入効果 ■ ■

日東工業(株)

現場代理人 神田采音さん

スマートコンストラクションアプリを使用
した土量管理が日々の計画作成に役立
っています。従来の施工では確認が難し
い日々の掘削土量がアプリで確認でき
ました。今日の掘削量はどれほどか、あ
と何日ほど掘削工に日数を要すだろうか
など、現場で実測をしなくても大凡の
数量が把握できることは、画期的で大
変便利です。ダンプの運行管理におい
ては、今までは、追跡調査をし交差点
での写真撮影など現場を離れて管理す
る必要がありました。SMART CONSTRUCTION
Fleetでは、アプリを使って走行軌跡の
確認や注意喚起ができるので、どこか
でもリアルタイムでの運行管理が可能
です。今後ICT技術が更に進歩をしてい
けば測量工程なども省略されると予想
します。従来では手作業で実施してい
ることが、3次元設計データをベース
に施工が進んでいくことによりヒュー
マンエラーの削減も期待でき、より効
率的な施工ができるように変化してい
くことを望みます。

